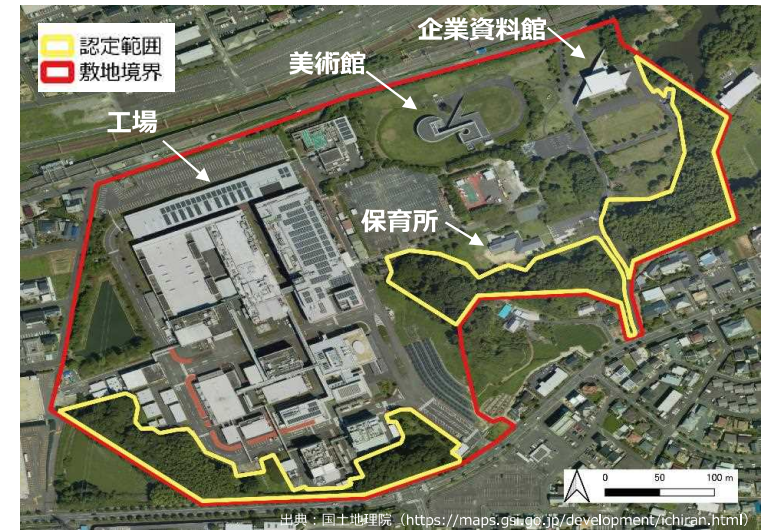


場所 静岡県掛川市

面積 3.45ha

活動目的 地域の生物多様性の保全を目的とした植生の維持管理を基本とし、敷地内で働く従業員や緑地利用者を癒し楽しませるレクリエーション機能や、景観形成機能を発揮させることで、人と自然環境とが共存するサイトを実現する。

サイト概要 本サイトは、静岡県掛川市のほぼ中央に位置する「資生堂」の敷地内緑地である。敷地内には、「資生堂掛川工場」「カンガルーム掛川（保育所）」「資生堂企業資料館」「資生堂アートハウス（美術館）」が存在する。サイト内には、シイ・カシ二次林、竹林、スギ植林、コナラ林等がモザイク状に分布した、里地里山的な樹林環境が広がっており、保育所の園児が日常的に自然体験・観察を行うなど、生態系サービスの提供に優れる緑地である。また同時に、環境や文化に配慮する企業理念も表徴しており、従業員や来訪者に緑陰の癒しと生きものとのふれあいの場を提供している。



土地利用の変遷 工場を設立した当初は工場立地法対応としての緑地であったが、企業資料館や美術館、保育所の設立により、防災にかかる調整サービスだけでなく、景観形成機能や環境教育等の文化的サービスを提供する緑地として強化してきた。

サイト周辺の環境 本サイトの周囲は住宅地が多く、北東と南西には掛川市所有のため池（下俣新池と東池）が隣接している。また本サイトから数百メートル南の地域にはため池や田、雑木林が多く残っており、5km程度南には静岡県指定の鳥獣保護区を擁する「小笠山」が位置している。

- アピールポイント**
- ・本サイトには里地里山的な樹林環境が広がり、在来の動植物が多種、生息・生育している。
 - ・本サイトには工場・保育所・企業資料館・美術館等と調和した里地里山の環境が広がり、様々な生態系サービスを従業員や地域の方々に提供している。
 - ・筍等の収穫
 - ・生きもの観察
 - ・季節の自然風景の探勝（桜、新緑、紅葉）
 - ・本サイトは敷地内の施設の背景（借景）となり、これらの施設と一体的に、環境や文化に配慮する資生堂の企業理念の発信に寄与している。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトでは、シイ・カシ二次林、竹林、スギ植林、コナラ林等の群落がモザイク状に分布し、里地里山的な樹林環境が広がっている。各植生群落において高木層構成樹種に大径木が多く、シダ類をはじめとする南方系植物が生育している。

【主な植生】

シイ・カシ二次林、竹林、スギ植林、コナラ林

【確認された主な動植物など】

【植物】

ツブラジイ、スタジイ、サカキ、モチノキ、コナラ、エノキ、ヤマザクラ、スギ、ヒノキ、イタビカズラ、ムベ、オオバヌスビトハギ、オオカナワラビ、ヘラシダ、マルバベニシダ 等159種

【鳥類】

キジバト、ツミ、コゲラ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、アオジ 等

【昆虫類等】

タマムシ、ジョロウグモ 等

【哺乳類】ニホンザル、リス科の一種、タヌキ、キツネ、ニホンジカ、イノシシ

【爬虫類】ジムグリ、ヤマカガシ



写真の説明：サイト内のシイ・カシ二次林



写真の説明：タマムシ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトの樹林環境は、隣接するカンガルーム掛川（保育所）の園児が、植物採集や動植物の食物連鎖の観察をするなど、日々の自然体験・教育の場となっている。また、本サイトは企業資料館やアートハウス（美術館）に近接し、芝生広場と一体的に美しい景観を保持することでブランド発信の場や訪問者の憩いの場となっている。

【主な植生】

シイ・カシ二次林、竹林、スギ植林、コナラ林

【確認された主な動植物など】

カンガルーム掛川によると、園児は日常の活動（自然体験、自然観察）において以下の生きものたちとふれあい、楽しんでいる。

【親しみやすい身近な動植物】

〈鳥類〉キジバト、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ 等

〈昆虫類等〉バッタ類3種、キタキチョウ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、イチモンジセセリ、タマムシ、ジョロウグモなどのクモ類3種 等

〈植物〉ヤブツバキ・スミレ類・ネジバナ等（花）
コナラ・エノキ等（どんぐり等の木の实、落ち葉） 等

〈その他〉クモ類を捕食するトカゲ類、アジサイをはうカタツムリ類、プランターなどにいるダンゴムシ類等



写真の説明：サイト内（林縁）で集めたどんぐり等を用いた工作活動



写真の説明：園内に来る様々な生物を観察する様子（左）
木に登る様子（右）

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

本サイトの維持管理活動は、主として、樹林地林床、林縁における草刈り、シダ植物等南方系林床植物の保護、竹林の間伐・伐採、樹木の剪定・病害虫防除である。
 維持管理の実施スケジュールは表の通りである。主に緑地をレクリエーション/福利厚生提供の場、自然体験/学習の場として活用しており、今後も活用していく計画である（表参照）。

表 活動計画

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
維持管理	樹林・竹林	○				○	○	○		○			
利活用	レクリエーション /福利厚生					○							
	体験/学習					← 草花/昆虫観察 →					← 野鳥/冬鳥観察 →		

【緑地の維持管理体制】

掛川工場の管理部と製造部主導のもと、緑地管理の協力会社の協力を得て管理作業を推進する。日々の管理、保守点検と併せて緑地の環境情報の収集、生物の記録等も対応する。

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】

- ・植物相、植物群落
- ・鳥類相
- ・昆虫類相

【モニタリング場所】

サイト全域

【モニタリング手法】

- ・専門家による相調査

【モニタリングの実施時期及び頻度】

- ・5年に1回のモニタリング調査
- ・植物相調査：調査年の早春、初夏、盛夏、秋に各1回
- ・植物群落調査：調査年の盛夏1回
- ・鳥類相調査：調査年の繁殖期、越冬期に各1回
- ・昆虫類相調査：調査年の早春、初夏、盛夏、秋に各1回

【モニタリング実施体制】

- ・専門家を擁する調査会社に委託する